

戦気

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www11.plala.or.jp/mitani-yamato/index.htm

マスコットの
 ごんごちゃんです



1月25日 スーパーバンタム級・8R 後楽園ホール 上野康太・惜敗

2008年1月25日、後楽園ホールのメインイベントとして登場した上野康太は、日本スーパーバンタム級6位の塩谷悠選手(川島ジム所属)と戦い8ラウンド終了判定の結果、2対1で惜敗した。

2007年4月9日以来9ヶ月ぶりに後楽園ホールのリングに立った上野康太は一段と逞しい身体に変身していた。対戦相手の塩谷悠選手は2003年度の全日本スーパーバンタム級新人王で、昨年8月、日本スーパーバンタム級王者・下田昭文選手(帝拳ジム所属)にタイトルマッチに初挑戦したが判定負けを喫している。戦歴は18戦17勝(9KO)1敗。

1ラウンド、2ラウンドは康太の右フックが的確に塩谷選手にヒットし塩谷選手の出鼻を砕くスタートとなる。3ラウンドは互角の戦いとなったが、4ラウンド、5ラウンド、6ラウンドは塩谷選手が前に出てボディブローを多発する戦術をとり、康太は被弾しふらつく場面があった。7ラウンド、および最終8ラウンドは康太が再度盛り返し、左ストレートや右フックが決まり、今度は塩谷選手が度々ふらつく場面となる。

判定結果は2対1で上野康太の僅差の判定負けとなったが、康太は負けたとはいえナイスファイトで次戦が楽しみである。

昨年ニューヨークのボクシング殿堂博物館にファイティング原田JBC会長に次いで日本人2人目の殿堂入りしたジョー小泉さんが試合後のロッカールームを訪れ「康太選手はいいパンチを持っている。正確にパンチを相手に当てている。まだ21歳なのでこれから身体を鍛えると将来楽しみな選手になる」と激励の言葉を贈ってくれた。



三谷会長のコメント

今日の試合は康太にとって格上の相手との戦いだった。試合は負けたが、よくやったと思う。後半の7、8ラウンドに調子を上げてきたので次につながる負けだった。康太にとって初めて経験する8ラウンドだったが、通常、後半はペースが落ちてくるものだが、逆に上がって行ったというのは大きな財産だと思う。私の採点では康太の2ポイント勝ちだった。

サポーターの声

- ☺ 1月25日の上野康太選手の試合に友達と一緒に応援に行きました。前半は押されている感じでしたが、後半はもりかえしていました。結果は判定で2対1で負けてしまいましたが、どちらが勝ってもおかしくない微妙な判定でした。結果は判定負けでしたが、これに腐らずに負けの中から新たな出発をして欲しいと思います。三谷ジムを応援しています。(I・Aさん)
- ☺ 今年も新人王戦が始まりますが、ジムの若い選手は新人王を目指していくという明確な目標があって、うらやましく感じます。また、確固たる目標を目指すことにより、人間的にもふくらみを増して成長していけるのではないかと感じさせられます。(S・Yさん)



シリーズ：選手紹介

profile



上野康太(21歳)

生年月日: 1987年1月20日

出身地: 千葉県千葉市

戦歴: 11戦: 9勝(4KO) 1敗1分

2002年10月、三谷大和ジムへ入門

2004年06月、関東高校大会バンタム級優勝

2005年04月、プロデビュー初勝利

2006年11月、東日本スーパーバンタム級新人王

2006年12月、全日本スーパーバンタム級新人王

好きな言葉: 会長命

好きな選手: 三谷大和

自分の目標: 三谷会長のような人間になる

三谷大和スポーツジム



2002年09月 千葉市花見川区千種町でジム発足

2004年07月 八千代市八千代台に新ジム開設

2004年11月 三谷ジムプロデビュー戦

2006年12月 全日本スーパーバンタム級新人王誕生

ごんごちゃんを見た！！



2007年12月29日、三谷ジム恒例の忘年会がジム内で開かれました。ジム生のお母さん達が料理を準備してくれ、ジム生、練習生、家族、後援会のみなさんが集まり、ジム生の歌やコントの出し物、腕相撲の熱戦、ビンゴゲームの景品に思わず顔もニマリ。

選手の年度表彰は新人賞: 斉藤司選手、敢闘賞: 鬼が島竜選手、優秀選手賞: 小林光希選手、最優秀選手賞: 岩井大選手が選ばれました。各選手の今後に期待します。

スケジュール

2月25日 2008年新人王戦8階級エントリー

3月10日 福本雄基・第7戦

井上和寿・第3戦

4月14日 平井良維・第11戦

編集後記

三谷大和スポーツジムニュースを発行することになりました。編集者の岩井です。三谷ジムのサポーターの一人として若いジムの応援に行きたいと思っています。後楽園ホールで選手が戦う姿を度々観戦しますが、三谷ジム生の応援は他ジムに比べてまとまりがありとても好感が持てます。ニュースを読んだ感想や応援メッセージがございましたら事務所までご連絡ください。